

	事業	数値目標（評価指標）等	2019年度実績	コンソーシアムの評価
目標Ⅰ 各大学間の連携の推進				
課題① 教育の質の保証・向上（授業内容等の改善）	共同FD（ファカルティ・ディベロプメント）	年延べ30名以上の参加	2019年8月26日～28日に英語による教授法「Oxford EMI Course 千代田キャンパスコンソ」（コンソ共催）を開催し、教員15名が参加した。	引き続き、数値目標達成に向けて取組みを行う必要がある。
課題② 教育の質の保証・向上（教育研究活動等の適切かつ効果的な運営）	共同SD（スタッフ・ディベロプメント）	年延べ50名以上の参加	2019年7月26日に「ボランティア活動理解研修」（コンソ主催）を開催し、職員等17名が参加した。2019年9月6日に「第20回法政大学FDワークショップ」（コンソ共催）を開催し、職員72名が参加した。2019年9月28日に他大学職員・地域住民等も対象に「千代田区キャンパスコンソ教学研究会・学生活動報告会」（コンソ主催）を開催し、コンソ職員10名を含む合計15人が参加した。	数値目標を達成している。
課題③ 各大学間の学生の交流の活性化	学生共同ボランティア	年間延べ100名以上参加	コンソーシアムが共催・協力する学生共同ボランティア等の学生参加連携事業を13件開催した（共催・協力・後援・協賛を含む）。これらに延べ約450名の学生が参加した。	数値目標を達成している。
課題④ 多様な学びの提供	単位互換の実施	2020（平成32）年度開始	2019年9月から試行運用として、2020年度からの実施予定を前倒しし、2019年9月から試行開始した。2019年度の対象科目数は5大学・2短期大学で合計120科目、受講者数は5大学で合計25名であった。	事業開始時期を前倒して実施している。
目標Ⅱ 各大学と千代田区（関係団体等を含む）との連携の推進				
課題⑤ 千代田区への研究成果の還元	「千代田学」事業	年5件以上採択	2019（令和元）年度の「千代田学事業」に加盟大学で合計7件が採択された。	数値目標を達成している。
課題⑥ 地域コミュニティの活性化	地域向けイベント等開催又は参画	地域住民延べ千名以上の参加	コンソーシアムが開催又は参画（主催・共催・協力・協賛・後援）する地域を対象に含めたイベント（「千代田区子ども検定チャレンジ大会」、「夏休み小学生講座2019」他、区内で行う学生共同ボランティア等を含む）を実施した。これらに約180名の参加者があった。	2020年3月の開催に向け準備を進めた複数の地域向けイベントが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）影響拡大により中止となった。これにより数値目標を達成することができなかった。
課題⑦ 地域の教育支援	地域向け共同公開講座等の実施	年1回以上実施	コンソーシアムが主催する地域向け共同公開講座（「千代田区子ども検定チャレンジ大会」、「夏休み小学生講座2019」）を開催した。	目標を達成している。
目標Ⅲ 各大学と地域産業界等との連携の推進				
課題⑧ 学生による地域産業振興支援	地域産業界との連携教育プログラムの実施	年1企業以上との実施	「千代田区商工団体公式イベントナビ運営体験プログラム」（千代田区商工業連合会との共催）を実施した。	数値目標を達成している。

目標Ⅳ 各大学と地方の大学との連携の推進				
課題⑨ 地方の大学との学生交流の活性化	相互参加型教育プログラムの実施	年1回実施	沖縄県内の大学の学生も受講する「現代政策学特講Ⅰ（千代田区）」、「現代政策学特講Ⅱ（沖縄）」を2019年度単位互換科目として開講した。	数値目標を達成している。
目標Ⅴ 千代田区キャンパスコンソの運営基盤強化（千代田区キャンパスコンソが必要と認めた事項）				
課題⑩ 積極的かつ適切な情報公開	共同IRの実施と公表	年3項目以上分析・公表	2018年度に作成・公表した「数字で見る千代田区キャンパスコンソ」の改定版の作成に向けて、運営委員会で検討した。	2020年度以降、経年分析を含め、継続して取り組む必要がある。
課題⑪ 地域リスクマネジメント	災害時連携体制の検討又は事業実施	年1回以上の検討・事業実施	2019年9月に千代田区キャンパスコンソの学生・教職員が関わる千代田区内の災害、事件・事故等に関する連絡・調整について申し合わせ（「リスクマネジメント体制に関する申し合わせ」）を策定した。	数値目標を達成している。
課題⑫ 継続的検証体制の構築	事業取り組み状況・効果の評価	①コンソ主催連携事業参加者の参加満足度（前年度比5%増） ②単位互換提供科目に占める実履修科目の割合（前年度差5%増）	①コンソ主催連携事業参加者の参加満足度 「千代田区商工団体公式イベントナビ運営体験プログラム」の参加学生アンケートにおける満足度（「非常に良かった」「よかった」の回答者の割合） 前年度比 -1.3%（2018年度 90.1% 2019年度 88.9%） ②単位互換提供科目に占める実履修科目の割合 単位互換制度の開始時期が2019年度のため前年度との比較ができない。 なお、2019年度の提供科目数は120科目、うち学生が履修した科目数は17科目であった。	①は満足度の割合は微減したが、2018年度と同様に参加者の約90%から高い満足度を得ている。 2019年度は満足度を測定した事業とその回答の数が限られているため、2020年度は効果的な評価が可能となる情報の収集を図る必要がある。
その他の事項（千代田区キャンパスコンソが必要と認めた事項）				
－ 千代田区長等との連携	千代田区長と学長等との懇談会の開催	－	2020年1月に、区長と千代田区キャンパスコンソの各大学の学長等が参加する懇談会を開催し、区と各大学の教育連携やオリンピック・パラリンピックでの協力・連携等について意見交換を行った。 2019年9月に、区教育委員会事務局と千代田区キャンパスコンソが教育政策や教育のあり方に関する座談会を開催し、双方の教育連携の可能性について意見交換を行った。	目標に設定した事業を実施している。
－ 千代田区キャンパスコンソの活動報告	千代田区キャンパスコンソウィークの実施 学生活動報告会の実施	－	2019年11月・12月にかけて、各大学においてそれぞれ1週間程度を期間として、主に学生を対象に単位互換制度や学生ボランティア等、千代田区キャンパスコンソの活動を報告・紹介するポスター展示を行った。 2019年9月に「千代田区キャンパスコンソ教学研究会・学生活動報告会」を開催し、単位互換科目参加学生による履修報告や千代田区商工連公式イベントナビ運営体験プログラム（商工連共催）の活動報告を行った。	目標に設定した事業を実施している。

千代田区の意見

千代田区では、「千代田学」をはじめ事務事業の成果を区民や地域に還元できているのか検証し、更に発展できるよう事務事業を磨き上げています。
区長をはじめ教育委員会等との意見交換を通じて、コンソーシアムから有益な提言を受けることにより、短期間に「千代田学」等事務事業の拡充が見込まれるなど大いに貢献を頂いたと評価するものです。
今後とも「千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム」の運営によって蓄積されたリソースを千代田区の課題解決に繋げて頂ければと希望いたします。

千代田区商工業連合会の意見

2019年度の連携事業として、2018年度に続き連携教育プログラム「イベントナビ運営体験プログラム」の企画・運営を千代田区キャンパスコンソとともに行いました。2018年度の2倍にあたる24人の学生が参加し、活動成果を千代田区の新たな魅力を学生目線で紹介する「ぶらちよだ」として、ウェブサイト（千代田区商工業団体連合会イベントナビ）で発信しました。
2020年度も、商工連（地域産業界）、各大学の学生・教職員、千代田区、地域住民等、千代田区キャンパスコンソの関係機関・関係者との間で、魅力ある「千代田」づくりに資する連携に取り組んでいかれることを希望いたします。